

多摩川トンネル (沈埋函端部鋼殻) 製作工事

Fabrication of Steel Shells at End of
TAMAGAWA Tunnel

川田工業(株)・技術本部

1. 工事紹介

本工事は、東京湾岸道路の多摩川河口部に計画されている海底トンネル(沈埋トンネル工法)の沈埋函4函の端部鋼殻、鉛直セン断キー、バルクヘッドの設計及び製作、並びに大井埠頭に造成された沈埋函製作用のドライドック内での組立てまでを行うものである。

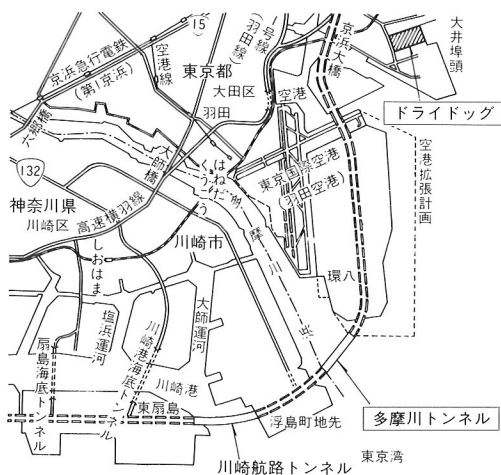


図-1 位置図

2. 主要諸元

工事名：BK314, BT315 工区
 沈埋函端部鋼殻製作工事(その1)
 路線名：都道・県道高速湾岸線(3期)
 請負者：川崎重工業(株)・川田工業(株)共同企業体

鋼重：	
端部鋼殻	4 函分 約 1,190ton
バルクヘッド	4 函分 約 680ton
セン断キー	4 函分 約 80ton
合計	約 1,950ton

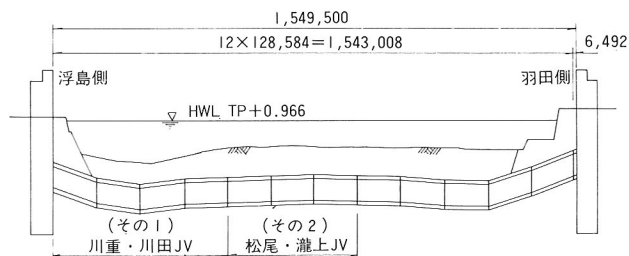


図-2 側面図

端部鋼殻：エレメントの両端部にある鋼製の殻であり断面は下図の通りである。

バルクヘッド：エレメントを浮体とするための函軸方向(仮隔壁)両端部の鋼製の蓋であり、車道、ダクト部各室に分けて片側当り4枚を端部鋼殻に全周溶接にて取付ける。ただし沈埋後に撤去する。

セン断キー：エレメント間の鉛直方向の相対変形を制御する為に内壁に設けた鋼製の凸凹型の突起物である。

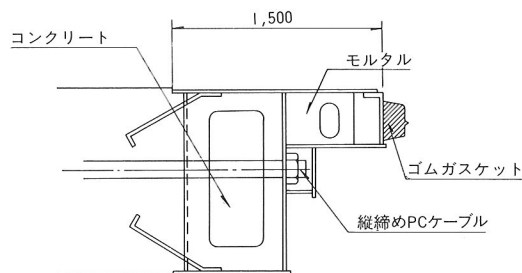


図-3 端部鋼殻標準断面

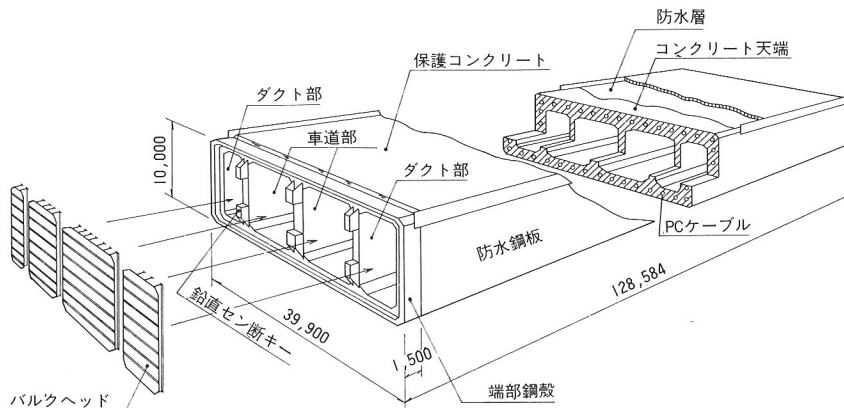


図-4 エレメント概況図

(文責・田島謙一)